

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年 3月 22日

会長 藤嶋 剛史

例会場:パレスホテル大宮

幹事 横溝 一樹

第2805例会 2024/01/13

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

発行日 2023/01/22

書初め会・新年初例会

会長挨拶 会長 藤嶋 剛史

本日は、さいたま市長特別秘書吉田様、梨本ガバナー、井原パストガバナー、松伏RC若盛会長、さいたま新都心RC一色会長、地区青少年交換の浦野委員長 次年度青少年交換派遣候補生の竹内桃歌さんとお父様の竹内敦志様、そして大勢の米山学友と奨学生の皆さんにご参加いただき、本当にありがとうございます。

皆様ご承知の通り、地震によって本当に大変な年明けになりました。4日前に地区から支援金支援の依頼があったところです。そうした中で、今こうやって無事に、

安全に新年を祝える我々は幸せです。昨年のクリスマスでも言いましたが、地球の中の幸せの分量は決まっています、誰かが幸せなときはその分誰かが不幸になっているかもしれない、という話があります。いま幸せの中にいる我々が、そんな誰かにしてあげられることを改めて考えていかなければならないと、強く感じています。

さて、今日は書き初めに始まり、このあとは書道パフォーマンスも予定していますが、その中で本年度のスローガンを取り上げていただけるようです。本年度スローガンは「把手共行」、サブテーマを、「分かち合おう、共にロータリーの感動を」としています。このロータリーの感動とはいわゆるロータリーモメント、記憶に残るロータリーの感動の瞬間のことで、この言葉は当地区からR Iの会長をされた田中作次さんが提唱されたものだそうです。そして、把手とは手を取る、つまりロータリーソングにある手に手つないでという意味で、共行とは単純に共に進んでいきましょうという意味です。いま当クラブは117名の会員がいますが、その皆で手を携えて活動できれば本当に大きな力になりますし、他の団体と協力すればさらに大きな力となります。そのためにも今年は、今日も参加していただけてますが米山学友会、米山奨学生の皆さんと協働してポリオデーの開催なども行ってきました。ただ、手をつなぐ相手は他人だけではなくて、自分の中にある、自分自身である、とも言われています。我々が奉仕活動を行うとき、ロータリアンとしての自分自身を見つめ直し、さらに磨いていければ、もっともっと良い奉仕活動につながるのではないかと思います。また、今日は奨学生の皆さんにたくさん来ていただけていて、3月には卒業を迎える人も多いと思いますが、その後は米山学友として、ぜひ皆さんでつながり続けて欲しいと思いますし、自分自身を見つめて、磨いて、素晴らしい未来を築いて欲しいなと思います。

最後にお正月にちなんで、初夢ではないですが、夢の話をしたと思います。私が2年前地区米山部門委員長をやる前に、一つ不安に思っていたことがありました。というのは、米山部門委員長というのは大学生相手です。大学の教員や担当者や密接に関わるのですが、実は大学を出てないので大学についてわからないことが多々ありました。やってみたら別に問題なかったのですが。私が中学生のころ、家は今と違う商売をやっていたんですがそれがうまくいっておらず、行きたい高校があったのですが経済的な事情であきらめなければなりません。その時にくさってしまって、もういいや、と大学に行くのもあきらめてしまったんですね。もっと根性があればバイトしながら勉強するとか道はあったと思いますが、努力をしなかった。その後しばらくして、夢を見るようになりました。同じ夢を。ああ、もうすぐ大学受験なのに勉強全然してない、どうしよう、どうしよう、という夢です。で、はっと目が覚めると、ああ、そうだった。大学受験なんてしなかったんだな。と思い出す。この夢を、30歳くらいまで見ていました。今日は若い人がたくさん来ていますが、これから自分の将来を決める決断をする時が何度もあると思います。そんな時に努力しないで簡単にあきらめてしまうと、何度も夢に見るほど後悔することがあります。ですので、「把手共行」の言葉にあるように、自分自身を見つめて、本当にそれでいいのかじっくり考えて、悔いのない人生を歩んで欲しいなと思います。

何はともあれ、今日はすべて「和」のテイストで、食事には多分新年例会では初であろう、お雑煮なども用意しました。最後まで大いに楽しんでいただければ幸いです。



把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/





書初め会



第 2770 地区 ガバナー
梨本 松男様



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
常務理事/第 2770 地区パストガバナー
井原 實様



会長 藤嶋 剛史



新年初例会

お客様紹介、米山記念奨学生紹介

副会長 柴谷 義一



ロータリーの目的・
四つのテスト

荒井 伸夫 会員



- 名誉会員・さいたま市 市長 清水 勇人様
- さいたま市 市長特別秘書 吉田 太様
- 武蔵一宮氷川神社 権禰宜 遠藤 胤也様、
楽人 荒蒔 貴史様、舞人 金長 史栞様
- 第2770地区 ガバナー 梨本 松男様 (幸手 RC)
- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 常務理事/
第2770地区パストガバナー 井原 實様
(さいたま新都心 RC)
- 第2770地区青少年交換委員長 浦野 一郎様
(戸田 RC)
- 松伏ロータリークラブ会長 若盛 圭恵様
- さいたま新都心ロータリークラブ 一色 泉様
- 2024-25年度青少年交換派遣候補生 竹内 桃歌様、
お父様 竹内 敦志様
- 2023学年度米山記念奨学生 金 亮希さん

米山学友の皆様

氏名およびフリガナ	世話クラブ	役職等
金 蘭 様 (キン ラン)	新座	第2570地区米山学友会 副会長
金正録 様 (キム ジョンロク)	大宮西	第2770地区米山学友会 直前会長
田 敏 様 (ジョン ミン)	越谷南	第2770地区米山学友会 監事
陳 詩西 様 (チェン インサイ)	大宮シティ	第2770地区米山学友会 副会長
張 政 様 (チョウ セイ)	越谷東	第2770地区米山学友会
グエン ティ ガン 様	大宮西	第2770地区米山学友会
趙 珺 様 (チョウ タン)	浦和東	第2770地区米山学友会
陳 雨潤 様 (チェン ウカン)		

米山記念奨学生の皆様

氏名およびフリガナ	世話クラブ	国籍	大学
馬 奕奕 様 (マ フェイフェイ)	浦和南	中国 (河南省)	埼玉
安 展宇 様 (アン テンセンセン)	さいたま新都心	中国 (陝西省)	芝浦 (埼玉)
呉 雨馨 様 (ゴ ウセイ)	大宮シティ	中国 (浙江省)	芝浦 (埼玉)
任 群 様 (ニン グン)	大宮東	中国 (遼寧省)	聖学院
陳 莎莎 様 (チェン ササ)	鴻 巣	中国 (河南省)	埼玉
マックティスアン 様	幸 手	ベトナム	共栄
グエントゥイリン 様	松 伏	ベトナム	共栄
安 宏宇 様 (エン コウウ)	川口南	中国 (河北省)	埼玉
ユンゴックユイウイン 様	川口西	ベトナム	聖学院
耿 銘鑫 様 (コウ メイキン)	浦和ダイヤモンド	中国 (黒龍江省)	埼玉
ホアンヴァンフオン 様	大宮北	ベトナム	聖学院
ホティテウイキョウ 様	杉 戸	ベトナム	共栄
オンティセエン 様	蓮田	ベトナム	聖学院
チエンティフォンタイン 様	吉川	ベトナム	共栄
方 董萱 様 (ホウ シェン)	三郷	中国 (浙江省)	日本工業
ピーリンギロ、プリスアリ 様	三郷中央	ルワンダ	埼玉
アジ ムウラ 様	戸田西	ウイグル自治区	埼玉
張 赤坊 様 (チョウ イピン)	戸田イブニング	中国 (天津市)	埼玉

お客様ご挨拶

さいたま市長特別秘書
吉田 太様



第2770地区青少年交換委員長
浦野 一郎様

第2770地区ガバナー
梨本 松男様



公益財団法人ロータリー
米山記念奨学会 常務理事/
第2770地区パストガバナー
井原 實様



第2770地区 2024-25年度
青少年交換派遣候補生
竹内 桃歌様



目録贈呈

第2770地区ガバナー 梨本 松男様

公益財団法人 ロータリー日本財団へ
「世界ポリオデーin 大宮」
ポリオプラス寄付金として



大宮西ロータリークラブより
501,663円 (\$ 3,412) を寄付
※会長 藤嶋 剛史より



第2770地区米山学友会より
501,663円 (\$ 3,412) を寄付
※米山学友会監事 田 敏さんより

幹事報告

幹事 横溝 一樹

1. 先日発生した能登半島地震につきまして、地区より支援金のお願いがございました。今回被害の規模が大きいことから、おひとり一万円を目標にご協力いただけますようお願い申し上げます。
2. 自衛隊協力会より「新春講演会・懇親会」のご案内、当クラブの今井会員より株式会社セレモニー60周年のご案内、地区よりワイン同好会のご案内を配布いたしました。
3. 2023-24年度下期会費納入のお願いをお送りいたしましたのでご確認の上ご対応いただけますようお願いいたします。
4. 今月のロータリーレートは1ドル141円となっております。



米山記念奨学金支給及び近況報告

2023 学年度米山記念奨学生 金 亮希さんに、
福田 美香会員より支給



進行

佐藤 真義会員・福田 典子会員

懇親会

スマイル報告

副 SAA 荒井 理人



武蔵一宮氷川神社 御祈禱

武蔵一宮氷川神社
権禰宜 遠藤 胤也様
楽人 荒蒔 貴史様
舞人 金長 史葉様



ロータリーソング斉唱

「手に手つないで」
指揮：星野 良江会員

書道パフォーマンス「揮毫」

米山記念奨学委員会 委員長
円谷 友香



乾杯

パスト会長
福田 和子 会員



あけましておめでとう御座います。1/1 元日早々、能登半島の地震災難が起こり大変な新年明けとなり、心痛みます。能登は、以前大宮西ロータリークラブで親睦旅行に行ったところ。亡くなられた方にお悔やみと被災された方にお見舞い申し上げます。先ほど皆様と共に氷川様に一年のお願いをしました。お願いがかなうようには是非、「そわか」の法則を実行してみてください。
「そ」掃除をして部屋を綺麗にする
「わ」笑って笑って過ごす体と免疫が出来て元気になる
「か」感謝
対象はいろいろです。これから美味しい料理が出ますね。作る人にも感謝です。
そ・わ・かとは、サンスクリット語で幸せになれと言う意味です。皆さんが幸せになれますよう、大宮西ロータリークラブが光輝くように心を込めて、乾杯の唱和をお願いします。乾杯！

アトラクション 「二人羽織」



金 亮希さん・福田 美香会員 VS
グエンティガンさん・島村 まり子会員



藤嶋 剛史会長・横溝 一樹幹事 VS
小林 又次郎 会長エレクト・岡部 勉 幹事エレクト



グエントウイリンさん・若盛 圭恵様 VS
金正録さん・一色 泉様



お客様ご挨拶

名誉会員
さいたま市 市長
清水 勇人様



中締め

副会長 染谷 義一



皆様、こんばんは。

はじめに、去る1月1日に発生した能登半島地震において、尊い命が失われ、大変な苦しみが続いている被災地の皆様に、深い哀悼の意を表しますとともに、心からお見舞いを申し上げます。本市では、地震発生翌日に新潟市へ水道局職員を派遣するとともに、国や他の自治体と連携し、1月6日から職員を動員し本格的な被災地への支援を実施しております。

被災地の一刻も早い復旧復興をお祈り申し上げますとともに、本市としてもできうる限りの支援をしてみたいと考えております。

さて、本日は「大宮西ロータリークラブ新年初例会」の開催、誠にありがとうございます。藤嶋剛史会長、横溝一樹幹事をはじめ、大宮西ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃より、奉仕の活動を通じて、地域社会の発展にご尽力いただくとともに、市政各般にわたって、多大なるご支援、ご協力を賜わり、深く敬意と感謝を申し上げます。

昨年、本市は政令指定都市に移行して20周年を迎えました。人口は134万人を突破し、14歳までの子どもの転入超過数は8年連続で全国第1位となるなど、有数の大都市として成長・発展を続けています。

最新の市民意識調査では、「住みやすい」「住み続けたい」という方の割合が85%を超え、「住みたい街」「幸福度」などの民間によるランキング調査でも上位定着の高評価が続いているのみならず、SDGsやDXに先進的に取り組む都市として首位を獲得することができました。また、昨年末には映画「翔んで埼玉」続編の大ヒットにより、名実ともに全国随一の注目度を誇る都市となりました。

本市が住むことを誇りに思える都市として、また、政令指定都市として今日の実現に至りましたのも、ひとえに、市民の皆様の市政へのご理解ご協力の賜物に他なりません。共に歩み、汗をかき、地域社会の発展に日々ご尽力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

迎えた新年は、コロナ禍からの回復をさらに推し進めながら、新時代に向けて力強く歩みを進める年です。長引く物価高騰への対応、DXの一層の推進、脱炭素社会の実現に向けた取組などを進めてまいります。

そして、少子高齢化はもとより、自然災害、環境問題への対応、そして貧困、教育、医療といった社会的課題に向き合い、多様性を認め、すべての人が支え合いながらともに生活できるインクルーシブな社会を構築してまいります。脱炭素などの地球規模の課題と人口減少・少子高齢化などの地域社会に到来する課題を一つずつ乗り越え、総合振興計画で掲げた本市の将来都市像「上質な生活都市」「東日本の中枢都市」を実現し、誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市を実現していくためには、皆様の協力が不可欠です。

どうか本年も、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今年は辰年、竜をモチーフにした本市のPRキャラクター「つなが竜ヌウ」の年です。「つなが竜」には、本市の魅力を伝え、人々のつながりを深める役割を担うという意味が込められています。ヌウ年となる令和6年、本市の魅力をこれまで以上に発信していくとともに、市民や事業者の皆様との絆を深め、一丸となって本市のこれからのさらなる成長を形作っていきたく思います。

迎えた新年が、皆様にとって、天高く昇り飛躍する竜のごとく、ご健勝にて活躍され、幸多い一年となることを心から祈念し、私のあいさつとさせていただきます。